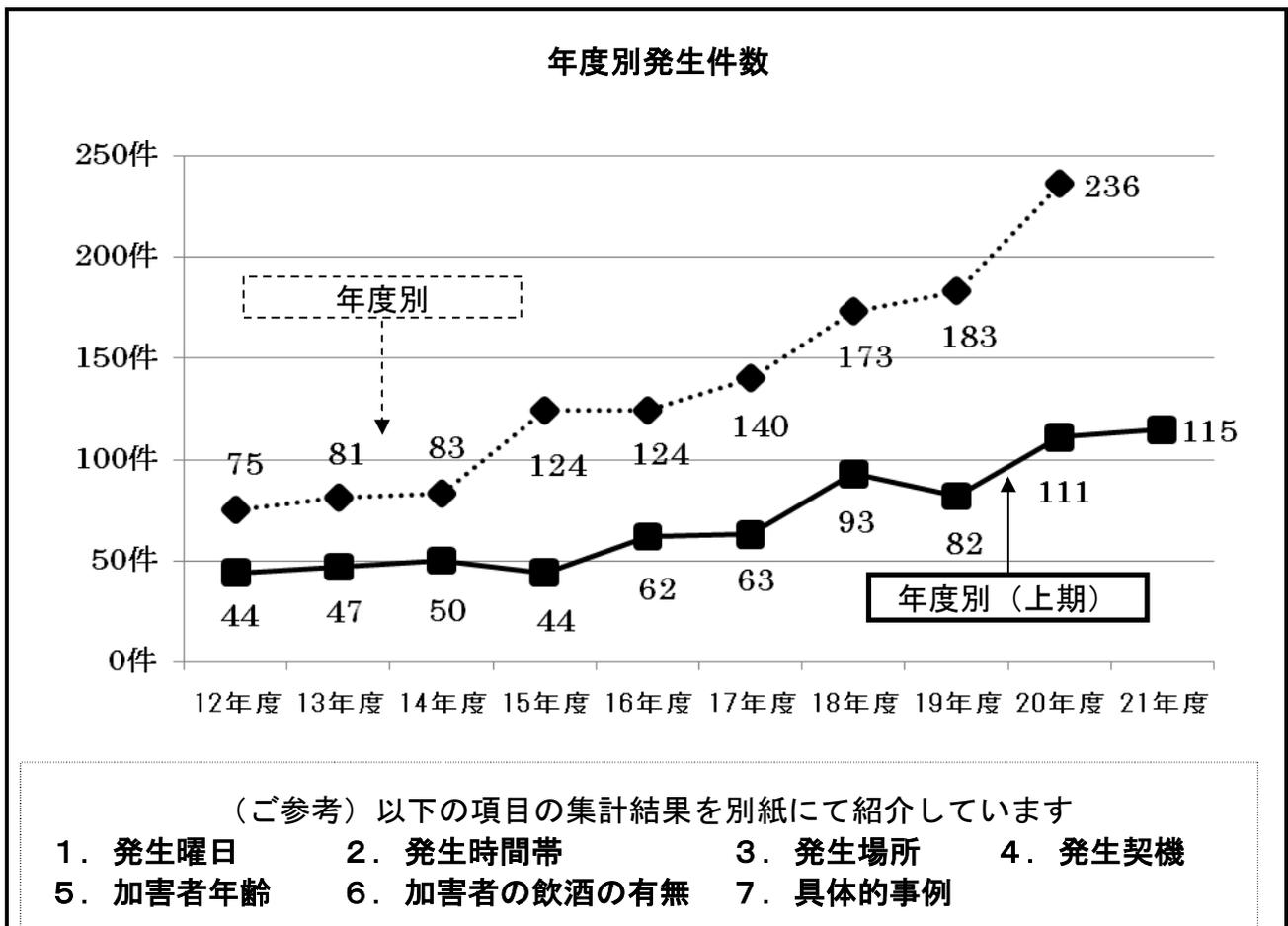


鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成 21 年度上期 / 大手民鉄 16 社)

社団法人日本民営鉄道協会では、大手民鉄 16 社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成 21 年度上期（4 月～9 月）6 ヶ月間に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行いました。

暴力行為の発生件数は 115 件（対前年同期 + 4 件）となり、平成 12 年度の調査開始以降、過去最悪の件数となっています。

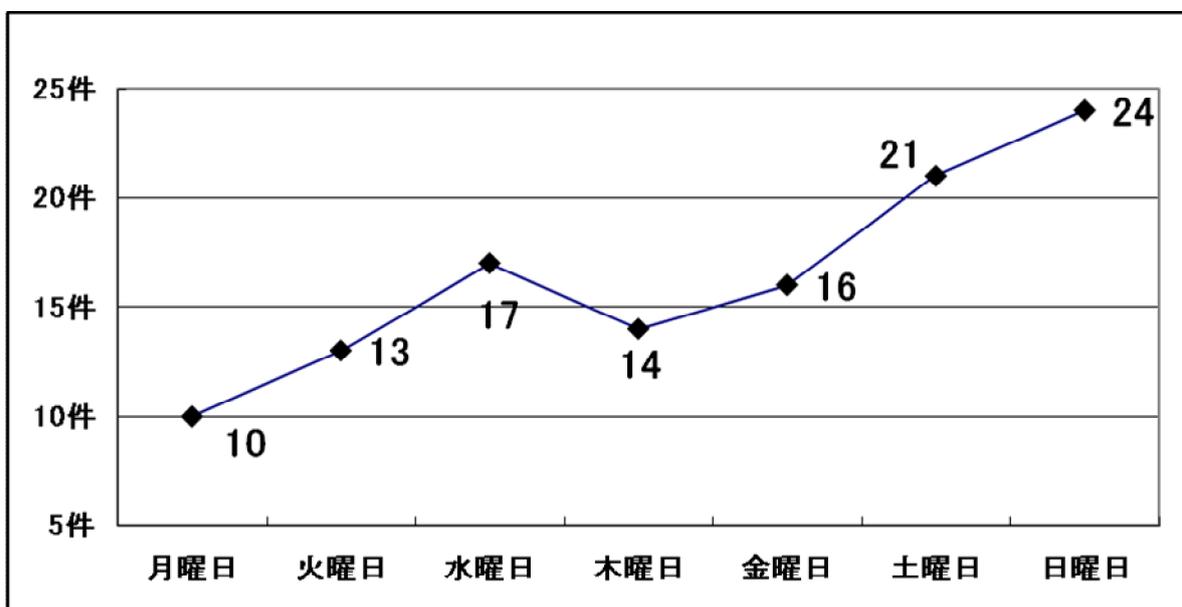
暴力行為が発生する状況としては、ほかのお客様の迷惑となる行為をやめて頂くお願いをした時や理由なく突然に行われるケースも多く、車内や駅構内の安全が脅かされています。また、加害者年齢別には 30 代までの層が過半数を占めるなど若年化しており、時間帯については、深夜に発生することが多い傾向にあります。



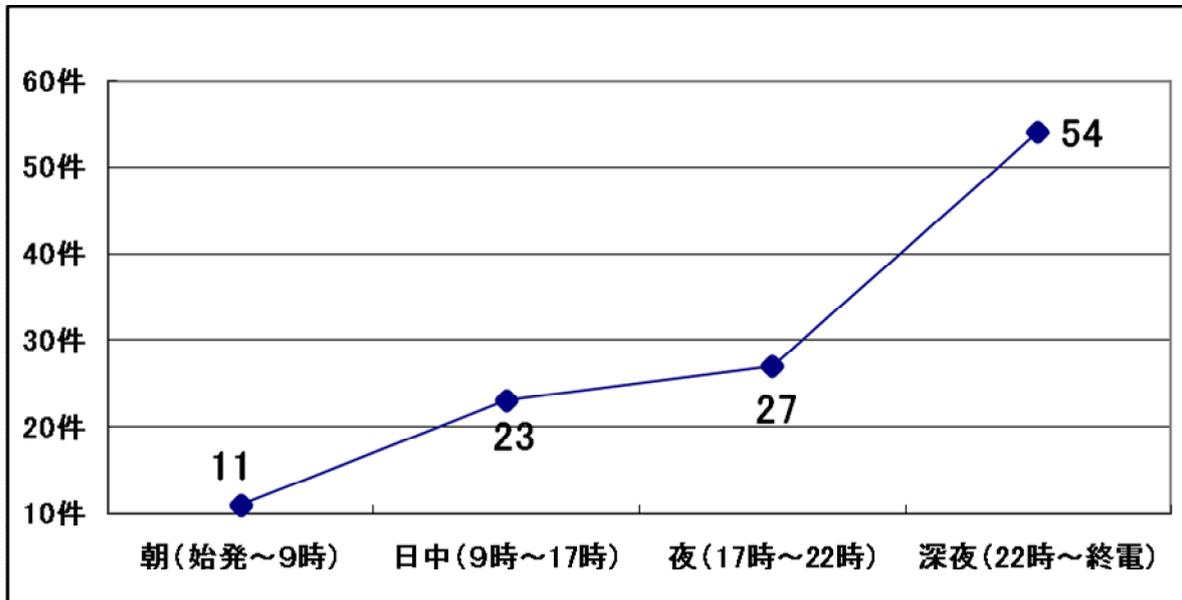
本日、この資料は下記の記者クラブにお届けしています
 国土交通記者会・ときわクラブ・東海交通研究会・青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体事例等（詳細）

1. 曜日別 発生件数



2. 時間帯別 発生件数



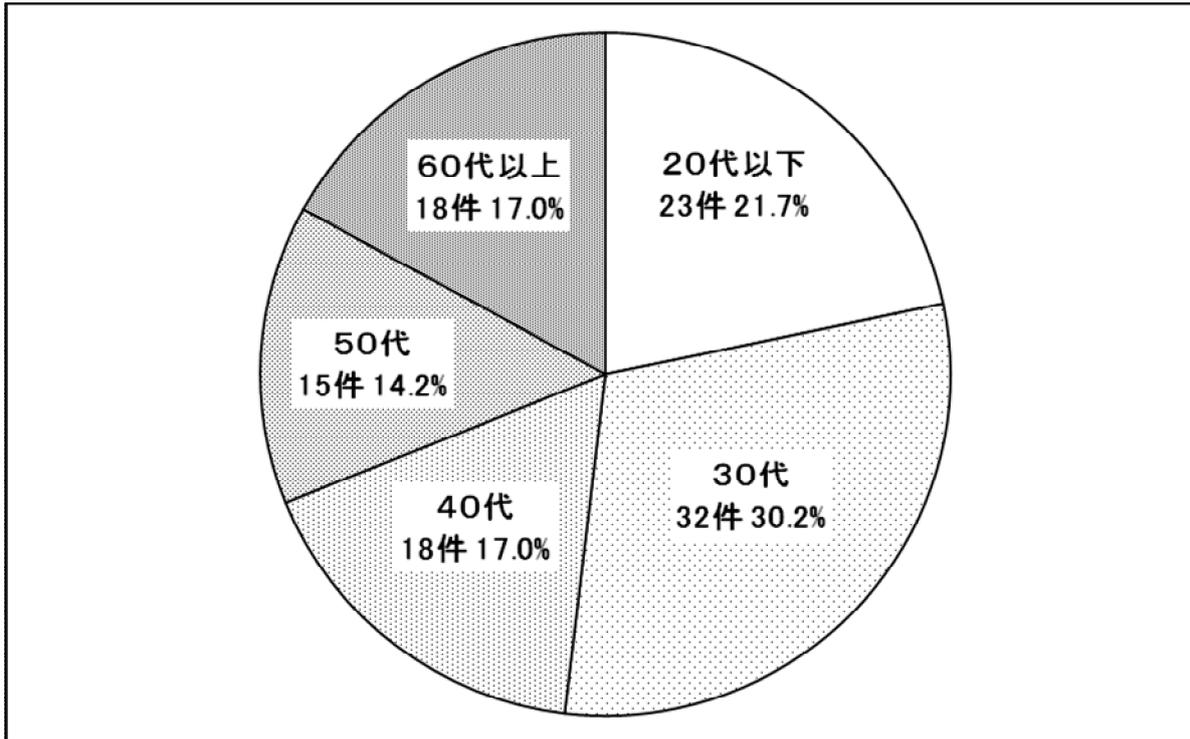
3. 主な場所別 発生件数

改札	ホーム	列車内	通路
47件	45件	9件	9件

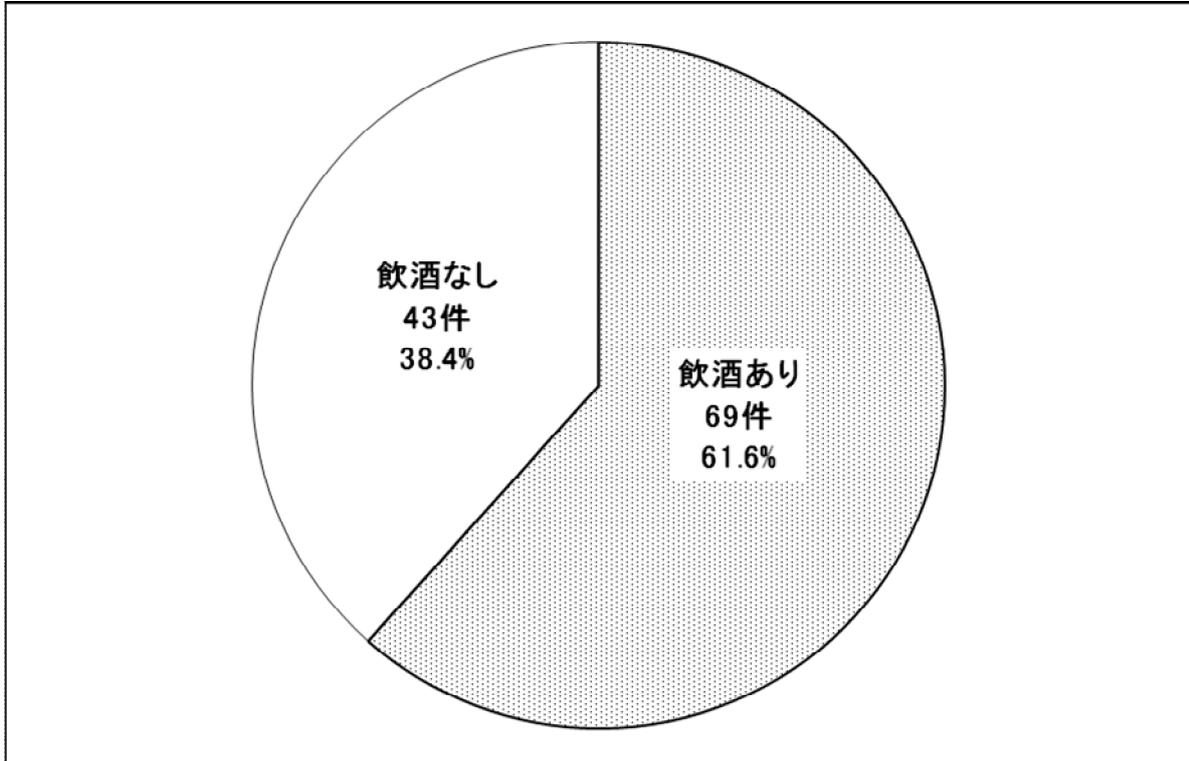
4. 主な契機別 発生件数

理由なく突然に	迷惑行為を注意して	酩酊者に近づいて	けんかの仲裁
28件	21件	14件	9件

5. 加害者年齢



6. 加害者の飲酒状況



※発生状況の詳細が判明しているケースのみ集約している。

7. 具体的事例

【事例1】

曜日	水曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	列車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	20歳代	飲酒	あり

終点到着した電車の座席で横たわって寝ている酔客に対し、駅係員が降車していただくよう何度も呼びかけた。目覚めたお客様に座席に座っていただき、再度降車を促したところ、加害者が突然、駅係員を殴った。（全治7日）

【事例2】

曜日	金曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	理由なく突然に	年齢	40歳代	飲酒	あり

最終電車終了後、駅係員がホームにいたお客様に本日の電車は終了した旨をご案内したところ、突然殴る蹴るの暴行を受けた。駅係員は隙を見て駅事務所内へ逃げたが、加害者に事務所まで追いかけられ、他の駅係員とともに再度暴行を受けた。（休業46日）

【事例3】

曜日	土曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	30歳代	飲酒	あり

乗車券を投入せず、無理やり自動改札を通過したお客様に対し、駅係員が乗車券購入のお願いとご案内を行い、改札窓口に戻った。すると加害者が突然、駅事務所内に侵入し、駅係員に暴行した。これにより駅係員は鼻骨を骨折した。（全治1ヶ月）

【事例4】

曜日	木曜日	時間帯	朝（始発～9時）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	不明	飲酒	なし

自転車を押しながら改札内に入場しようとするお客様に対し、自転車の車内持ち込みについては、他のお客様のご迷惑とならないよう、解体または折りたたんだ上で専用の袋に入れることが定められていることを説明し、収納するようお願いした。しかしお客様は納得せずにホームへと移動したため、駅係員は袋を用意し、ホームにて再度収納をお願いしたところ、突然加害者から壁に押し付けられ、膝で蹴飛ばされる等の暴行を受けた。